

第十四回 衆議院産業組合法案審査特別委員會速記録 (第二號)

(一一五)

明治三十三年二月十四日(水曜)午後四時三十二分開議

○委員長(鹽田忠左衛門君) 是ヨリ開會致シマス、昨日質問ガ終リマシテゴザイマスカラ、今日モヤハリ第一章ヨリ續イテ御意見ガアレバ御述べテ願ヒマス

○(金岡又左衛門君) 私ハ第一條ニ付イテ修正ノ意見ヲ提出致シマス、第五ニ「前各號ニ掲ケタル事業ノ外勅令ヲ以テ事業ヲ爲スコト」ト云フコトガアリマスガ、私ハ第五ト云フモノハ削除シタイト云フ意見デゴザイマスト申シマスノハ、本案ノ骨子ハ即チ此第一カ第四マデ列記シテアルノハ、産業組合ノ精神デアアルノデアリマスルカラシテ、其列記シタルモノノ外ニ尙勅令ヲ以テ指定シタルモノトシマスルコト云フト、詰リ法律モ勅令モ同一ノ精神ニナルト云フコトニナリマシテ、例ヘバ議會ニ於テ不必要ナリト認メルモノモ、政府ガ必要ト認メル時ニハ、何時ニテモ第一ニ必要ト思フテ遣ッテ掲グルコトガ出來ルノデアアルカラ、サウスルト議會ノ承諾ヲ經ズシテ政府ガ勝手ニ産業組合ノ項目ヲ新タニ設ケルコトガ出來マスカラ、誠ニ法律ト云フコトガ甚ダ穩カナラヌコトデ、詰リ勅令ガ法律ヲ凌駕スルト云フコトニ結果ガ來ルノデアリマスカラ、若シモ政府ガ第一カ第四マデノ外ニ必要ナモノガアルト認メタ時分ニハ、次ノ議會ニ於テ何時デモ之レニ追加シ得ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、即チ議會ノ承諾ヲ經タ以外ニナリマス、故ニ此第五ノ勅令ヲ以テ指定シタル事業ヲナスコト云フコトハ、削除シタイト云フ意見ヲ提出致シマス

○(木村督太郎君) 何レ採決ノ時ニ修正ハ別々ニ各條ニ御採リニナルノデアリマセウカラ、私ハ第六條ニ修正ヲシタイ、第六條ノ産業組合ノ剩餘金云々ト云フ第一項ハ改メシテ「第六條産業組合ニハ所得稅及ビ營業稅ヲ課セス」ト致シ、第二項ハ削除、第三項ハ原案ノ儘ニ据エ置クノデ、モウ一遍讀ミマス、第六條産業組合ニハ所得稅及ビ營業稅ヲ課セス、第二項ハ削除致シマス

○(中埜廣太郎君) 私モ此第一章ニ付イテハ最早他ニ修正スル箇條モナイト認メテ居リマスガ、既ニ木村サンガ御述べベニナッタ如ク、第六條ニ付イテハ同意見ニ修正ヲスル考デアリマスガ、稍々木村サンヨリ御發議ニナリマシタカラ、モウ私ハ述べマセヌガ、併シ政府委員ニチヨット御尋ヲシテ置キタイノハ、尤モ獨逸ノ如ク發達シテ居ル國デハ、産業組合或ハ産業組合ニシテ一般公衆ニ對シテ營業ヲ爲スモノニ對シテハ、ヤハリ營業稅ヲ課シタリ或ハ所得稅ヲ課シテ居ルヤウナコトニナッテ居ルカ、其邊ハドウ云フコトニナッテ居ルカ、一應參考マデニ伺ッテ置キタイノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 産業組合一般ニ所得稅ヲ課シ營業稅ヲ課セナイト云フコトハ、産業組合ト云フモノノ發達ヲ圖ル上カラ申セバ、最モ理由ノアルコトト存ズルノデアリマス、唯此何故ニ本案ノ第六條ニ斯ノ如キ規定ヲ

存シタカト云フコトノ理由ヲ一應申述べタイノデアリマス、第六條ノ第一項ニハ第四十三條ノ規定ニ依ッテ、成ルベク剩餘金ガアツテモ是ハ組合ニ配當セズニ、尙未拂込ノ支出ノ拂込ニ充テルノデアアルノデ、拂込ニ充テルノデスカラシテ、特ニ産業組合ノ所得トシテ拂ッテ來ルモノデアハナイ、四十六條ニアル準備金トシヤハリ組合ノ財産トシテ保存スルモノデアリマスカラ、是又組合ニ所得稅ヲ課スルモノデアナイト云フ理由デ、斯ノ如ク規定致シタルデアアル、營業稅ニ付イテハ昨日モ委員會デ述べマシタ通り、第一條ノ第一項第三項第四項ハ當然此第六條第二項ノ適用ヲ受クベキモノデアナイノデアリマスガ、獨リ販賣組合ニ至リマシテハ、稍々商會社即チ物品ノ販賣ヲナスコトヲ以テ目的トシテ居ル會社ト混同スル恐ガアル、又營業稅ノ上カラ言フテモ稍々同ジモノデアアルト云フコトカラ、是ハ一般公衆ニ對シテ營業ヲナス者ハ營業稅ヲ課シテ宜カラウト云フ、此趣意デ一項二項ヲ設ケタルデアリマス、即チ政府提出ノ本案ニ於テ斯ノ如キ規定ヲ入レタト云フノハ、右申上ゲタヤウナ理由デアリマスカラ、一應申上ゲテ置キマス、此營業稅ヲ課セヌト申スコトハ外國ノ例ハ十分ニ調べテ居リマセヌガ、併ナガラ御承知ノ通り此稅法ハ色々違ッテ居リマスノデ、今日ノ現行ノ營業稅ノ如キ精神ノモノガ外國ニアリマシタナラバ、營業組合ノ如キハ直チニ營業ヲナスモノデアリマセヌカラ、固ヨリ營業稅ヲ課スベキモノデアハナイ、サウ云フ論ヲスレバ營業稅ヲ課セヌト云フコトガ當然デアツテ、特ニ法律ニ規定ヲナス必要ハナイト云フヤウナ論モナイトモ言ヘマセヌガ、是ハ産業組合ハ果シテ營業ヲナスモノカ、營業ヲセヌモノカ、即チ營業稅ヲ課スベキモノカ、課スベカラザルモノカト云フ解釋ニ付イテハ、此法案執行ノ後ニ於テ、或ハ疑ヲ招ク虞ガアリマセヌカラシテ、ソコデ特ニ「營業稅ヲ課ス」ト云フ明文ヲ設ケタ譯デアリマス、若シ外國ノ營業稅法ナルモノガ日本ノ營業稅ト同一ノ精神デアレバ、無論課スベキモノデアハナイ、又所得稅ノコトニ至リマシテハ、外國ノ例ニ付イテ調ベタモノハナイサウデスガ、是ハ主トシテ實ハ今日アル所ノ組合デ、此法律ノ産業組合ト同ジ目的ヲ以テ設立セラレタモノガアル、其中デ此群馬縣ニアリマスル碓氷社ニ甘樂社ト云フノハ大キナ資本ヲ運轉シテ居リマス、是ハ實際ニ付イテ調ベテ見マスルト、今日マデ營業稅トシテ一文モ拂ッテ居マセヌカラ、又所得稅モ納稅シテ居ラヌト云フ實況デアリマスカラ、此實際ノ有様ニ依テヤハリ所得稅モ課セヌ、又原則トシテ營業稅モ課セヌト云フコトニ致シタルデアリマス

○(木村督太郎君) 先刻ハ修正ノ理由ヲ述べマセヌデシタカラ、少シク其理由ヲ述べマス、此稅法ノ說明ニ依レバ第一條ノ第二項即チ一般公衆ニ對シテ營業ヲナスモノト見做テアルヤウデアリマスガ、併シ私ノ考デハ此第二ト云ヘ

ドモ、他ノ生産物ヲ此組合ニ買占テ賣却スルノデハナクシテ、唯組合其者ダケノモノニ賣却スルノデアル、畢竟自ラ米ヲ取テ自ラ賣ルノデ、唯組合ヲ設ケテ賣ルニ止マルコトデ、決シテ此營業ト見做スベキ性質ノモノデハナイト認メマス、又産業組合法ヲ發布セラレテ、此組合ガ發達スルト餘程殖産上ニ於キマシテ、大キク云ヘバ外國トノ貿易上ノ即チ輸入超過ヲ防グト云フ點ニナラウト考ヘマス、農工銀行或ハ勸業銀行等ニハツレ、保護ヲ與ヘテ、或ハ配當ノ五朱以上ノ配當ヲ與ヘルトカ、或ハ債權其他ノ保護ノ箇條ガ間々アルノデゴザイマス、獨リ此産業組合ニ於テ保護スルコト云フ點ガ甚ダ少ナイ、先ヅ六條ニ於テ此等ノ所得稅ヲ課セヌト云フ位ノ保護ヲ與ヘテ然ルベキモノト考ヘマスカラシテ、此項ヲ修正シテ理由デゴザイマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 金岡君ノ御説ニ御賛成ハアリマセヌカ

(賛成)ト呼フ者アリ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 木村君ノ御説ニハ……

(賛成)ト呼フ者アリ

○委員長(鹽田忠左衛門君) チヤ兩方ニ分ケテ採テ見マセウ、金岡君ノ説ニ賛成ノ御方ハ舉手ヲナスツテ下サイ

舉手者 少數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 少數——ツレデハ木村君ノ説ニ賛成ノ方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 多數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 多數ト認メマス、其他ハ原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(鹽田忠左衛門君) ツレデハ第二章……

○(平岡萬次郎君) 私ハ第七條ヲ修正シタイト思フ「産業組合ハ七人以上ニ非サレバ是ヲ設立スルコトヲ得ス」トアルノヲ「五人以上」ト改メタイノデアリマス、ツレハ政府委員ガ昨日ノ御説明ニ依リマス云フト、ナルベク多キヲ要スル多イノガ宜シイ、數ハ飽マデモ多イ方ヲ望ムト云フコトデアリマシタガ、是ハ其通りデアリマス、有限責任トカ保證責任トカ云フ會社ニ於テハ、見出スコトガ出來マスガ、モウ一ツ無限責任ト云フモノガアル、是ハ各自百圓ヅツ資本ヲ出スト致シマシテモ、其責任ト云フモノハ無限ニ及ビマスカラ、中ニハ千圓ノ責任ヲ盡ス人ガアリ、壹萬圓ノ人ガアル程ノコトニナリマス、サウ云フ人ガ寄集テ會社ヲ組立ルト云フコトハ、事實ニ於テ多ク持ッテ居ルカラ出來ナイ、併ナガラ多キヲ主トシテモ出來ナイ性質ガアル、サウスレバ斯ノ如キ會社ニ於テハ、少ナイ人デ組立ルトコトガ出來ルト云フ途ヲ開キマスルガ便宜デアアル、實際五人バカリデ設立シタイト云フ必要ガ澤山アラウト考ヘマス、或ハ三人デモ二人デモサセタイト云フヤウナ御認メモアラウガ、私ハ茲ニ五人以上ト云フコトニシテ、五人集マレバ設立スルコトガ出來ルト云

フコトニシタイト考ヘル

○政府委員(岡野敬次郎君) 五人ト七人トノ區別ハ大シタコトデアアリマセヌガ、唯組合ノ方法其他設立ノコトニ付イテ、日本ノ法律ニ於テ又自然ノ歴史ノニサウナツテ居リマス、外國デモヤハリ七人ト云フ例ガ多イノデアリマス、佛蘭西ノ法律デモ七人ト云フコトニ定メテアリマス、是ハ他ノ法令ニ倣テ七人ト致シマシタガ、五人トシマシタ所デアライ結果ハアリマセヌ、併ナガラ平岡サンノ御話ノヤウニ五人デ設立シ得ルト云フ趣意デ之ヲ修正スルト、實際ノ結果ハ大變違ウ是ハ單ニ設立ニ付イテ責任ヲ持ッ者ガ五人ト云フノデ、組合ノ者ハ多クナケレバナラヌ

○(平岡萬次郎君) 日本ノ株式會社ハ有限責任合名會社若クハ合資會社ハ無限責任デアアルガ、合名會社及合資會社ハ何人以上ナレバ建テルコトガ出來ルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 合名會社合資會社ハ決シテ人數ニ於テ制限ハアリマセヌ、其人數ニ制限ノナイノハ會社ノ目的ガ營利デアツテ、互ニ信用シテ居ルモノデナケレバイカヌ、而シテ日本ノ合資會社ハ五百人位ノモノガアルサウデゴザイマス、例ヘバ産業組合ガ株式會社ト同ジヤウニ總會ヲ開クトカ、理事監事ノ如キモノヲ置クノハ何デアアルカト云フト、社員ノ多數ヲ目的トシテ居ルカラデアリマス

○(平岡萬次郎君) 合名會社合資會社ノ如キハ日本デハ少ナイ、僅カナ人デモ出來ルコトト信ジデ居リマスガ、政府委員ハ株式會社ノ例ヲ引カレマシタガ、合名會社合資會社ハ無限責任デアアル、ツレニ似寄タ無限責任ト云フ會社ノ設立ヲ許シタ以上ハ、有限責任ナル株式會社ノ例ヲ引カルハ當ラヌト存ジマス、無限責任ト云フコトガアレバ、少數ノモノデモ出來ルト云フコトハ、他ノ法律ニ比較シテモ是ハ設ケラレナケレバナラヌト信ジマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 株式會社ノ通りニシナケレバナラヌト申スノデアアリマセヌガ、株式會社ト同ジ趣意デアアル、其組織ニ於テハ株式會社ト同ジデアルト云フコトヲ申スダケデアリマス、即チ産業組合ハ組合員ノ多數ヲ主トスルノデアリマスカラ、總會ヲ開カナケレバナラヌトカ、組合員ノ五分ノ一以上デナケレバナラヌトカ、斯ウ云フトキニ斯ウシナケレバナラヌト云フコトガ必要デアアル、私ノ申スノハ産業組合ニハ理事モナケレバナラヌ、監事モナケレバナラヌ、其二人ヲ引クト三人シカナイ、サウ云フモノヲ設立シタ所デ、其目的ヲ達スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、産業組合ハ組合員ノタメニ設立スルモノデアツテ、一般公眾ニ對シテナスコトガ趣意デアアルカラ其人數カ少ナケレバ組合ヲ組織スルコトガ出來ナイ

○(平岡萬次郎君) 第三項ノ産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ、之ヲ組合員ニ賣却スルコトハ平生互ニ信用シテ居ル間柄ニ於テハ、多少資産ノ等差ハアリマシテモ、無限責任ヲ以テ其組合ヲ拵ヘマスレバ信用モ厚シ、又買フニ付イテ便宜ガアルト云フヤウナコトデ、組合ヲ設ケル必要ハ世間ニ間々ア

ルコトト思フ、是ハ七人以上ニナルト少ナイ人デモ設ケヤウト云フコトガ出来ナイ故ニ、範圍ヲ廣クシテ置ク方ガ宜カラウト私ハ思ヒマスカラ、諸君ノ御賛成ヲ得テ修正シタイト思ヒマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 平岡君ノ「産業組合ハ七人以上ニアラサレハ」トアルノヲ「五人」ト云フ説ニ賛成ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 少數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 少數デアリマス他ハ之ニ決シマス第三章

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鹽田忠左衛門君) 然ラバ原案ニ決シマス、次ハ第四章

○(加藤六藏君) 私ハ修正ヲ出シマス、甚ダ簡短ナコトデゴザイマス、第二十六條ノ「理事ノ任期ハ三箇年トス」トアルノヲ「二箇年」ト致シタイ、ツレハドウ云フ譯デアアルカト云フト、折々氣ニ入ラヌト云フヤウナコトガ起ル、ツレニ三年デハ長イカラ二年ニスル、然ラバ一年ニシタラドウダト云フカ知ラヌガ、一年デハ事務ニ練レヌカラ二年ガ適當デアアル、二年トシテ其理事ガ適當ナデアアルナラバ再選スルダケデアアルカラ二年ニスル、サウスレバ或ハ後進ノ適當ナ人が出ルカモ知レヌ、ドウ云フニシテモ三年デハ長過ギルト考ヘルカラ、之ヲ二年ニ直スコトニ致シタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 之モヤハリ年數ノ問題デ、是非三年デナケレバナラヌト云フ理由ハナイ、株式會社ニ於テ三年ト云フコトニナツテ居リマスカラ、其方ニ倣メテヤハリ三年トシタノデ、別段ニ重イコトデハアリマセヌガ、株式會社ノ取締役ノ任期ト變ヘル必要ハ更ニナイノデアリマス、任期ヲ定メル精神ハドウ云フニシテモ同ジコトデアリマスカラ、ツレデ先ヅ三年勤續スルコトト定メマシタ

○(加藤六藏君) 「但シ定款ニ別段ニ定マルトキハ此限ニ在ラス」トアリマサル、デドチラデモ宜イヤウナモノノ、三年トアレバ適當ナ人が出テモ代レナイ、ドウデモ宜イヤウナ話シデアアルガ、此處ハ二年トシテ定款ニ於テ三年ニシタケレバ三年ニスルコトハ、特別ハ定款デ極メルコトニシタイ

○(西谷金藏君) 三十二條ノ仕舞ノ方デ伺ヒマスガ「第六十一條ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス」トアリマスガ、之ハ民法ノ第六十一條ノ全條ニアラズシテ、第一項ヲ適用スル場合ト承知致シテ居リマスガ、之ハ全ク活版ノ誤植デアッテ、三十二條ノ一番仕舞ニ「第六十一條ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ準用ス」トアル、ツレヲ「六十一條第一項ノ規定」ト第一項ヲ入レタ方ガ宜カラウト思フ

○(金岡又左衛門君) 政府委員ニ質問シマスガ、之ハ誤植デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 誤植ナリト云フコトヲチヨット此處デ申スコトハ出来マセヌト云フハ、原案ヲ持ッテ居リマセヌカラ、比較シテ申スコトハ出来マセヌガ、民法ノ六十一條ノ二項ニハドウ云フコトガ規定シテアルカト云フト「總社員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲナシタル

トキハ理事ハ臨時總會ヲ招集スルコトヲ要ス」ト云フコトガアリマス、其規定ハ此本案ノ第二十三條ノ「組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ、總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ明記シテ書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマスカラ、此二項ヲ準用スルト詰リ重複スルコトニナリマスカラ、ツレデ第一項ダケヲ準用シテ差支ナカラウト思ヒマス

○(平岡萬次郎君) 私ハ三十二條ニ改正ヲ致シタイ、ツレハ民法第四十四條ノ第一項ヲ取ッテシマウ、サウシナケレバ民法ノ第四十四條ノ全部ヲ茲ニ準用スルコトニナツテ來マスカラ、職務ヲ行フ上ニ付イテ責任ヲ重ク持タルタメニ一項ヲ除クト云フノデ、其二項ヲチヨット讀ミマスルガ「法人ノ目的ノ範圍ニ在ラサル行為ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其事項ノ議決ヲ贊成シタル社員理事及ヒ之ヲ履行シタル理事其他ノ代理人連帶シテ其賠償ノ責任ヲ當テ責任ヲ盡ス者ニハ、成ルベク重イ責任ヲ負ハシタイト云フ考カラ、此民法ノ法人ニ付イテ定メタル役員ノ責任ト同ジヤウニシタイ考デ、此一項ヲ削ル、即チ二項ヲ適用スルト云フコトニシタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此民法ノ第四十四條第二項ヲ準用スル御話シハ、昨日モ御質問ノヤウナ御意見ヲ伺ヒマシタガ、御趣意ヲ確カメテ置キタイノデス、民法ノ第四十四條ノ第二項ニ於テ賠償ノ責任ズルモノハ理事者デハナイ、決議ニ贊成シタル社員、ツレカラ理事ノ代理人、理事、其他此法人ノ代理人ガ連帶ヲシテ、賠償ノ責任ズルコトニナルノデスガ、ヤハリ決議ニ贊成シタル組合員ニモ御趣意デスカ

○(平岡萬次郎君) サウデス

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレデハ三十二條ノ産業組合ノ理事ニ準用スト云フノデハ、不都合ノヤウニ思ヒマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 採決ヲ致シマス

○(平岡萬次郎君) サウスルト法文ハ後デ直スコトニシテ、其意味デ以テ……

○委員長(鹽田忠左衛門君) 御書キ下サイマセヌカ

○(平岡萬次郎君) チヨット今出來マセヌガ、同様ノ精神ヲ以テ法文ヲ直スコトハ委員長ニ委セテ、第二項ノ精神ヲ入レルヤウナ法文ニ修正シタイト云フ動議ニ變更致シマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 左様ナラ二十六條ノ加藤君ノ御説ノ「理事任用ハ三年トス」トアリマスノデ「二年」ト云フ修正説デアリマス、之ニ賛成ノ方ハ舉手ヲ

舉手者 少數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 少數西谷君ノ三十二條中ニ「第六十條及六十一條ノ第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス」ト云フ此「一項」ト云フノ

ヲ此處へ加ヘルト云フ修正デゴザイマスガ、之ニ御賛成ノ方ハ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鹽田忠左衛門君) サウスルト次ハ平岡君ノ説ノ四十四條第二項ヲ入レル精神ニ……

○(平岡萬次郎君) 第四十四條全部ヲ此處ニ準用スルヤウニシタイト云フ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 一應御尤ノヤウデアリマスルガ、昨日平岡サンノ御質問ニ對シテ、御答致シマシタ通りノ次第デアリマシテ、理事ガ決議ニ依ッテ不法ナ事ヲ爲シ、或ハ定款違反ナコトヲ致シタ場合ハ、其理事ガ賠償ノ責任ニ任ズルト云フコトハ、ソレハ明文ヲ俟タズシテ明カデアアル、民法ニ於テハ決議シタ場合ヲモ理事ガ其責任ニ任ズル、理事ガ唯其責任ニ任ズルケナラバ特ニ民法ニ於テモ明文ヲ必要トセヌ、此法案ニ於テモ理事ガ責任ニ任ズルハ當然ノコトデアルカラ、明文ヲ必要トセヌト思ヒマス、唯決議シタ組合員ニ責任ヲ負ハセルコトデアルカラ、或ハ明文ヲ必要トスル御議論カト思ヒマスガ、吾々ノ考ニ依リマスルト組合員ノ數ト云フモノハ随分多數デ、其多數ノ組合員ガ集ッテ議決シタ場合ニ、或ハ此者ガ賛成シタカラ責任ヲ負ハネバナラヌ、或ハ賛成シナカッタカラ責任ヲ負ハヌデモ宜イト云フコトハ、實際ニ於テ區別スルコトガ困難デアアル、又理事其人ヲ得ルト否ヤニ依ッテ産業組合ノ事業ガ舉ガル舉ラヌト云フコトハ、平岡サンガ度々述べラレマシタガ、特ニ總會ニ於テ賛成シタルモノハ責任ヲ負ブトカ、賛成シナカッタモノハ責任ヲ負ハヌトカ明カニ掲ゲル必要ハナイ、サウスルト規定ヲ掲ゲル必要ハ無イト云フコトヲ認メテ、本案ニハ採ラナカッタデアリマス

○(平岡萬次郎君) サウスルト云フト第二項ノ規定ハ要セズシテヤハリ此二項ノ通りヤル、修正シナクトモ法律ノ精神ハ一ダト云フコトデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 私ガ申スノハ理事ハ責任ヲ負ブト云フコトハ、明文ハ要ラナイ、其議決ニ加ハタ社員ガ責任ヲ負ブト云フコトハ、明文ガ要リマス

○(平岡萬次郎君) 私ノ云フノハ第二項ノ法人ノ目的ノ範圍ニアラザル行爲ニ依ッテ、他人ニ損害ヲ加ヘタル場合、例ヘバ産業組合ガ爲スベキ事柄ト云フモノハ、一條ニ書イテアル、又定款ニモ書クデゴザイマセウガ、其許シテアル範圍ヲ超越シテ社員ノ或者、或ハ全體若ハ理事、若ハ代理人ガ仕事ヲシタ場合ニハ、法人ノ産業組合ト云フモノガ責任ヲ負ハズシテ、サウスルト會社ノ目的ヲ超エタモノニ責任ヲ負ハスト云フ規定ガアル、是ハ極ク當然ト云ハシデモサウナケレバナラヌ規定デアアル、所ガ第一項トシテ除イテ了ツタ場合ニハ、斯ノ如キコトハ産業組合ガ責任ヲスルト云フ結果ニナル、サウスルト理ノ當然ノコトヲ書カヌデモ、第四十四條第二項ニ規定シタ如キコトハ、組合トシテ此通ヤラナケレバナラナイコトガ、第一項ト云フコトヲ殊更ニ入レデ、第二項ノ規定ヲ是ニ適用セント云フコトハ、社員若ハ理事其他代理人ガ組合

ノ目的外ノコトデヤツデモ、ヤハリ法人ガ責任シテ往カンケレバナラヌ大變ガアル、自分ノ知ラヌコトマデ責任ヲ負ハサレルト云フ形ニナツテ來ルカラ、是ハ無論理ノ當然トシテ第二項ト云フモノハ、ヤハリ是ニモ適用シナケレバナラナイ、ソレデ私共ハ第一項ヲ別ツテ、民法四十四條全條ヲ適用シタイト云フコトガ、少シ説明ガ足りナカッタ分ラヌヤウデスカラ申シテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 平岡サンノ民法ノ御解釋ハ私ノ解釋シテ居ルト大ニ異ツテ居ル、第四十四條第一項ニ於テ「法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任ニ任ス」トアリマスカラ、理事其他ノ代理人ガ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ損害ヲ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任ニ任ズルハ法人ガ責任ヲ負ハヌト云フコトハ明カデアアル、サウスルト其目的ニアラザル行爲デアアル、其行爲タルヤ職務ヲ行フニ付テノ所爲デアアルカ否ヤト云フコトハ、其實問題ニ依ッテ決スルデアアルカラ、若シ職務ヲ行フニ付テナシタ行爲デアルト云フコトヲ決定スレバ、第四十四條ノ一項ニ依ッテ法人ガ責任ヲ負ハヌバナラヌト云フコトハ、當リ前デアアル、而シテ目的ニアラザル行爲職務ヲ行フニ付テノ行爲デナイ、誰ガ認メテモ不法ナモノデアアル、惡意ヲ以テ爲シタ所ノ行爲デアルト云フコトニ極レバ、民法第四十四條第一項ヲ準用スルトアリマスカラ、法人ノ責任ニ歸スベキ理由ハナイ、唯茲ニ民法第四十四條ノ第一項ト云フコトヲ置イタ精神ハ、先刻モ述べマシタ通、其議決ヲ執行シタ理事ニ責任ヲ負ハセルガ主デハナクシテ、總會ヲ開イテ其行爲ヲナスコトニ賛成シタ社員杯ニ、責任ヲ負ハセルト云フコトガ主デアアルカラ、此明文ヲ必要トシタノデゴザイマスカラ、此明文ハ必要ト考ヘマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 平岡君ハ三十二條ノ民法第四十四條第一項ト原案ニゴザイマスノヲ削ッテ、總テ民法四十四條全條ヲ含ムト云フ説、是ニ賛成ノ御方ハ舉手

舉手者 少數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 少數、原案ニ決シマス、次ハ第五章全部

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鹽田忠左衛門君) 御異議ゴザイマセヌケレバ原案ノ通り決シマス、次ハ第六章

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(鹽田忠左衛門君) 第六章モ原案ノ通決シマス、次ハ第七章

○(中林廣太郎君) 第七章ノ六十八條ニ付イテ私ハ少シ窮窟デアアルマイカ、私ハ此六十條ハ窃ニ政府委員ニ聽イテ見マスルト、或ハ御尤ノヤウデハゴディマスルケレドモガ、併シ實地ニ之ヲ行フニ方ツテ或ハ又窮窟ヲ感シヤシマイカト云フ意見ヲ持ッテ居ル、總組合員ノ同意ヲ以テ其組織ヲ變更スルコトヲ得ト云フコトガゴザイマスルガ、是ハ七人カ或ハ十人ノ組合員デアッタナラバ免モ角モ、少シ多數ノ組合員ニナリマシテ、其組合ガ大ニ發達ヲ圖ラン

トシテ、種々ナル利益ニ付イテ、色々協議ヲスル、ツコニ至テ多數ノ人ガ悉ク一人デモ不同意者ガアツタナラバ、發達ヲ圖ルコトガ出來ヌ、サウ云フコトニナルノハ或ハ事實ニ於テ甚ダ窮窟ヲ感シハシナイカデアリマスカラ、過半數ト云フコトニ致シマスノモ穩當デナイ、或ハ總組合員ガ悉ク一人モ異議者ガナイト云フコトハ、或場合ニ於テハ來ヤウト思ヒマス、斯ウ云フ場合ニハ成ルベク總員ノ同意ヲ得テ、組織變更ヲ致シタイケレドモ、中ニハ頑固ノ人ガアツテ、最初ニ組合員ニナツタガサウ云フコトデアツテハ、ソレハ不利益デアツテモ、イヤト云フコトニナツテハ、甚ダ發達ヲ計ルニ付イテ不便ヲ感シハセヌカ、故ニ私ハ是ハ十分ノ五以上ノ同意ヲ得テ變更スルト云フコトニスルカ、私ハ免ニ角修正シタイ「組合員ハ其組織ヲ變更スルトキハ尙組合員ノ十分ノ九以上ノ同意ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得」ト云フコトニ致シタイノデゴザイマス

○(加藤六藏君) 四分ノ三デハドウデス、ソレナラ贊成デアリマス

○(中埜廣太郎君) ソレハ四分ノ三ト致シテモ宜シウゴザイマスガ、兎ニ角總員ノ同意ト云フコトハ甚ダ窮窟過キルト思ヒマス

○(橋本久太郎君) 是ハ不同意デアリマス、サウ云フコトハ出來ルモノデアリマセウカト云フノハ、目的ニ依テ訓令ヲ居ルノニ、其訓令ノ組織ヲ變更スル、其組織ヲ變更スルハ目的ヲ變更スルコトニナルダラウト思ヒマス、其時分ニ異議者ノアルノヲ捨テ置イテ、ソレヲ頭數ガ餘計アルト云フテ總令十分ノ九ニシタ所ガ、十分ノ一ノ不同意ガアツテモ、ソナナコトハ出來マイト思ヒマスカラ、私ハソレハ權利上ニ關係シタコトデアルカラ、私ハソナナコトハ出來ルモノデナイト思ヒマス

○政府委員(和田彦次郎君) 中埜君ノ唯今ノ御修正ニ付イテチヨット御尋ネシマスガ、保證組合ヲ設ケルコトヲ得ル場合ニハ、有限責任デ百圓寄合ッテヤツテ居リマス、サウシテ有限責任ノ持分ノ他ニ五百圓宛負擔シテ、保證組合ニ變ヘヤウ、斯ウ云フコトヲ十分ノ八トカ或ハ四分ノ三以上デ極メマスト、四分ノ三以下ノ者ハ百圓ヲ持タヌデモ服從シナケレバナラヌト云フコトニナリマス、サウ云フ場合ニ服從シナケレバナラヌ

○政府委員(岡野敬次郎君) 一言申シトウゴザイマスガ、多少ノ理由ハアラウト思ヒマスガ、實際此組合ノ組織ト云フモノハ、初メカラ或ハ無限責任ニシナケレバナラヌ、或ハ保證責任ニシナケレバナラヌト云フコトヲ定メテ、初メテ、組合ヲ設ケルノデアリマス、例ヘバ私が有限責任デアルト云フカラ組合ニ這入ッテ、所ガ多數ノ者ガ無限責任ニスルガ宜イデハナイカト云フ時ニハ、イヤデモ不同意デモ、自分ノ全財産ヲ組合員ニ這入ラナケレバナラヌト云フコトハ酷デハアルマイカ、或ハ四分ノ一ハ金持デアツテ、四分ノ二ハ貧乏デアアル、或ハ左程資産ノナイモノデアアル、其代ハリ議決權ハ各一個デアリマスカラ、資産ノアル者モナイ者モ同等ノ權利シカ行ヘナイ、ソコデ組合ノ信用ヲ維持スルト云フ場合カラ申シマスレバ、多少理由ガアルガ、組合員ノ事業ノ舉ラ

ヌ場合ニ資産ノナイモノガ多數デアラカト云フテ、其議決ヲ以テ資産ノアル者ガ自分ノ全財産ヲ舉ゲテ盡サナケレバナラヌト云フ結果ニナリマセウ、從ツテ其議決ニ服從シナケレバナラヌト云フコトハ、ドウモ組合ノ精神ニ反スルト思ヒマスカラ、實際ニ困ルト思ヒマス

○(木村督太郎君) 唯今政府委員カラ御述ガアリマシタガ、ソレハ第五十八條ニ依テ脫退スルコトガ出來ルカラシテ、不都合ナ時分ニハ意志ニ適ハヌ組織ニナツタナラ、退會シテ差支ナカラウト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 固ヨリ脫退ハ自由ニ出來ルコトハ認メデアリマスガ、併ナガラ先刻述べマシタ通り成ルベク組合員ハ多キコトヲ希望スル、脫退スルト云フコトノ成ルベクナイコトニシナケレバナラヌ、又法律ガソレヲ希望シテ居ル、サウシテ他ノ事業年度ノ終デナケレバ脫退スルコトガ出來ヌ、又脫退ハ組合ノ名簿ニ記載シタ後、二箇年間ハ責任ヲ負ハナケレバナラヌデアリマスカラ、ドウモ餘リ理由ガナイト思ヒマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 中埜君ノ第六十八條「組合員ハ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ其組織ヲ變更スルコトヲ得」斯ウ云フ修正ニ御贊成ノ方ハ舉手

舉手者 少數

○委員長(鹽田忠左衛門君) 少數デアリマス、第五十八條モ原案ノ通り決シマス、次ハ第八章

○(平岡萬次郎君) モウ一ツ修正意見ヲ出シタイ、第七十六條ノ「組合ノ理事監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ科料ニ處セラ

ル」此二月以上四年以下ノ重禁錮ト云フノハ、刑法ニ於キマシテ詐欺取財ト同シ罰ニナツテ居リマス、ソレデ他ノ場合ニ於テ不審ノ申立ヲ爲シ事實ヲ掩蔽欺取財ヲ爲スト同シヤウナコトヲ致ス場合ハ、僅五圓以上三百圓以下ノ科料ニ處スト云フコトハ、權衡上往カヌト考ヘマス、ソレデ此ノ如ク修正致シタイ「重禁錮又ハ五圓以上三百圓以下」デアリマス、其五圓ニスルカ三百圓ニスルカ、若クハ二月位ノ重禁錮ニスルカ或ハ四年ノ重禁錮ニスルカ、其邊ハ事情ヲ酌シテ裁判官ニ任セル次第デアリマスカラ、斯ウシテ置イテモ輕イニ失シハセヌカト云フ恐ガアリマスケレドモ、重イコトハナイト信ジマス、又重イ適用ヲ受ケルト云フ恐ハナイ、若シモ他ノ重罪ト同様ナコトヲ爲ス迄ノ程度ニ至ラナケレバ、裁判官ガ適用シナイケレドモ、詐欺取財ヲスルヨリモウ少シ心術ニ惡ムベキコトヲヤルカモ知レナイ、サウスルト最モ重キ科料ニ處セラル、ト云フガ如キハ、取締ノ途ヲ盡シタモノデナカラウト存ジマスカラ、此修正案ヲ提出致シマス

○委員長(鹽田忠左衛門君) 左ノ場合ニ於テハ……

○(平岡浩太郎君) 此場合ニ於テハ二月以上四年以下ノ重禁錮又ハ「ト云フ是ダケノ文字デ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 御賛成ガアリマスカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(鹽田忠左衛門君) 左様ナラ九章モ原案ノ通り……次ノ附則

○(加藤六藏君) 委員長、私ハ此第一章ニ付イテ質問致シタウ存ジマスカ
ガ、會議ノ都合デ今スルヨリカ一應問フテ後ニ致シタウゴザイマスカ

○(中埜廣太郎君) 附則ノ私ハ七十八條ニテ修正シタインデアリマスカ、修正スルニ付イテ少シ政府委員ニ伺フテ置キタイノデアリマスカ、大體斯ウ云フ案ヲ御出シニナルニ付イテハ、本法施行ハ何日トカ或ハ幾日トカ云フヤウナコトニナツテ居リマスカ、此案ハ勅令ヲ以テ定メル、茲ニハ七月トカ或ハ十月トカ云フヤウナ日限ニ定メテナイト云フヤウナコトニ付イテハ、何カ之ヲ定メルニ付イテ餘程此案ノ準備ニ付イテカラニ手ヲ要スルカ、或ハ定メナイト云フニハ其理由ガアルデアリマスカ、實ハ之ヲ七月一日頃カラ施行致シタイ私ハ考デ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此施行ノ時日ヲ法律ニ定メテアル例ト、勅令ヲ以テ定メル例ト二様ヨリシテ、何レカ申上兼ル程稍々相半バシテ居リマスカ、ソレデ何故ニ本案ニ於テ勅令ヲ以テ定ムト云フコトデ、勅令ニ讓ラカト申シマスルト、此法律ヲ施行スルニ付イテハ昨日モ述ベマシタケレドモ、現ニモウ獎勵ヲ必要トスルノデ、ソコデ若シ農商務省ニ於テ發スル所ノ省令ガ、此産業組合ノミ限ッテ居リマスカ、ソレハ誠ニ容易イノデアリマスカ、隨分澤山法律案ガアリマシタ、其法律案ニ伴ッテ隨分獎勵ヲシナケレバナラヌモノガ澤山アリマスカ、此法案ノミト云フ譯ニ行カヌ、尙附則ニ於テ第七十九條カラ第八十八條マデノ規定ト云フモノハ、之ハ其登記ニ關スル規定デ、非訟事件手續等ハ多少變更ヲ加ヘ多クハ準用シテ居ル、ソレニ付イテヤハリ其産業組合登記法ト云フモノヲ其指ヘナクチャナラヌ、此離形ヲ作り、又其帳面ヲ拵ヘ、尙又登記ヲナスニ付イテノ手續ハ、司法省ニ於テ省令ヲ以テ極メル必要モアルノデアリマスカ、ソコデ司法省モ同様デ此法律ダケノコトデ濟ミマスカ、宜シウゴザイマスカ、此保險會社保險條例ニモヤハリ此登記ノコトガアリマスカ、追々其手續ヲ必要トスルノデアラウト思ヒマスカ、デ固ヨリ農商務省ニ於テ省令ヲ定ムルコトニ付イテハ怠リナクヤル積リデアリマスカ、司法省ニモ追ッテ十分努メテヤッテ貫ウ考デアリマスカ、何分其期日ヲキチリト極メルト云フト、或ハ其手續ノ方ガ運ビ兼ネルト云フヤウナ事情ガアルト誠ニ困ルノデ、成ルベク別段ニ酷ク金ノ要ルコトデモアリマセヌシ、多少實際ニモ組合ガアルノデアリマスカ、酷イ手數ノ掛ルモノデハナイ、ソレデアラカラ此施行ヲ濫リニ延期スルト云フコトハ斷シテセヌノデアリマスカ、唯今御話スル通ノ事情デアリマスカ、確カリシタ期日ヲ定メ難イノデ

○(中埜廣太郎君) 見込ハ付イテ居リマスカ、凡ソ何時頃カラ

○政府委員(岡野敬次郎君) 先ツ遅クトモ十月一日カラ施行スルコトガ出來

明治三十三年三月三日印刷

明治三十三年三月三日發行

ヤウト思ヒマスカ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 異議ガゴザリマセネバ、此附則モ原案通り決シマスカ

○(加藤六藏君) 私ハ此少シク遅刻致マシテ、第一條ニ付イテ意見ガアリマシタガ、遂ニ決シタ後ハ參リマシタニ付イテハ、一ツ御質問ヲ致シタイノハ、此第五項ノ前各項ニ掲ケタル事業ノ外勅令ヲ以テ指定シタル事業ヲナスコトト云フコトガアリマスカ、是ハ此事柄ニ私ハ反對デアリマセヌガ、詰リ此本法ノ腦髓タルモノハ此第一條ニ在ル其一條ニ在ル腦髓ト云フモノヲ勅令デ極メルト云フコトハ、此法律トシテ誠ニ不完全ノモノデアアル、デ政府委員ノ言ハル、如ク、或ル事柄北海道ノ漁業トカ土木トカ云フヤウナ組合ノ必要ガ起ツタ折ニハ、之ハ次ノ議會何時デモ議會ニ出シテ挿入致サヌト、此一條ノ一項二項三項ト云フコトガ腦髓デアアル、其腦髓タルモノハ後ハ皆此手續ニ外ナラヌノデアアル、其腦髓タルモノヲ勅令デ極メルト云フコトハ、此法律ノ精神ニモ違ヒ、又此産業組合法ニモ不都合デアラウト考ヘル、ダカラシテハ取除ケタイト云フノ考ヘデアリマスカ、ドウナリマシタノデアリマスカ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 之ハ先刻金岡君カラ其御説が出マシタガ、少數デ成立チマセヌデアラウ、通リ決シマシタ

○(加藤六藏君) ドウデスカ、之ハ御再考ヲ願ハレマセヌカ、本會デ少數ノ意見ヲ出スノモ面倒デアリマスカ

(三讀會デ御出シニナツテハドウデアリマスカト言フ者アリ)

○(加藤六藏君) ソレカラ今一ツ政府委員ヘ御問ヲ致シタイノハ、此第一號ノ信用組合ト云フ、是ガ豫テ前回ニ申シタ通りニ、所謂(三讀會ニ移ルヘシト言フ者アリ) サウスレバ後トニ致シマセウ

○委員長(鹽田忠左衛門君) 其ヨリ三讀會ヲ開キマスカ

○(加藤六藏君) 私ハ此本案ノ鈞合上、ドウモ此第五號ハ取ツタ方ガ宜カラウト考ヘマスカ、其修正ヲ提出致シマスカ、ドウモ事柄ガ反對デアリマセヌガ、本案トシテ入レトクノハ權衡上勅令ト法律ト云フ區別ガ立タヌ、即チ法律デスベキモノヲ行政者ニ一任スルト云フノデ、甚ダ穩カデナイト考ヘマスカ、此號ハ取り除クコトヲ……

(賛成賛成ト呼フ者アリ)

○政府委員(和田彦次郎君) 政府モ別ニ異議ヲ申ス譯ヂヤアリマセヌ、趣意ダケハ昨日申シ上ゲテ置キマシタ

○委員長(鹽田忠左衛門君) ソレデハ是ヲ削ッテ他ハ二讀會決議ノ通り決シマスカ

午後五時四十二分散會

衆議院事務局

印刷者 印刷局